

ムスジイトンボ

Paracercion melanotum

兵庫県：要注目

環境省： —

種の概要

腹長21～25mm、後翅長14～17mm程度。♂の肩黒条はほぼ完全で、眼後紋は細く小さい。♀は成熟すると胸部の淡色部が橙色になり、腹部側面にコバルト色が出る。平地の開けた池沼や河川に生息し、沈水植物が繁茂する水域に多く、やや水深のある池に多産する傾向がある。潜水産卵を頻繁に行う。成虫は5月～11月にかけて見られる。



写真提供：青木典司

国内分布

本州、四国、九州、沖縄

県内分布記録

神戸市、姫路市、明石市、洲本市、芦屋市、豊岡市、加古川市、赤穂市、三木市、高砂市、小野市、三田市、加西市、丹波篠山市、丹波市、南あわじ市、加東市、たつの市、稲美町、播磨町、上郡町

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
		○			

特記事項

移動性のある種で、生息地では年により個体数が大きく変化することがある。個体数変動の予測が難しい種であり、今後も注目していく必要がある。

保護上の留意点

多産地では沈水植生を保護すること。